



「大会展望」

夏の覇者は

優勝へ鍵握るエースたち

文：写真取材班

今年3月の選抜高校野球大会(センバツ)には、青森県からは青森山田、八学光星の2校が出場し、高い投手力を武器に戦った。両校に負けじと、県内各校のエースたちもめきめきと力を付け、この夏は好投手が乱立。優勝への鍵を握りそう。野手も好投手を打ち崩そうと打力を磨いてきた。低反発バット導入後、初めて夏、どんな攻防が繰り広げられるか。

弘学聖愛が投打で優位／Aブロック

Aブロックは弘学聖愛が頭一つ抜けている。エース吹田志道、勝負強い貴田光将を軸に投打がかみ合えば、春夏連続優勝も見えてくる。三沢は開幕試合に勝利

混戦必至／Bブロック

Bブロックは混戦必至だ。第4シードの弘前は小技や足を絡めた攻撃や桑田乙矢を中心とした粘り強い守備が持ち味。春8強の八戸西をはじめ、東義、八学野西なども入り、どこが勝ち抜いてもおかしくない。

投手力ある工大一が筆頭／Cブロック

金沢光希、杉村駿太の左腕2枚を擁する堅守の工大一が優位。攻撃は伝統の機

動力に加え、一発を狙える打者もいる。9年ぶりの聖地を目指す三沢前に加え、ウルスス、八戸、工大一が上位をうかがう。

八学光星が青森山田へのリベンジに闘志／Dブロック

順当に勝ち進めば、準々決勝でぶつかる八学光星。青森山田が注目カード。センバツで輝きを放った投手同士の守り合いが予想されるが、どちらが均衡を破るか。大湊、八戸北は2校の行く手を阻めることができるか。

第106回全国高校野球選手権青森大会

「一球」に 想いを込めて

第106回全国高校野球選手権青森大会組み合わせ

(参加:48チーム、囲みはシード)

会期:令和6年7月9日(火)~22日(月) 移動日:19日(金) 休養日:12日(金)・15日(月)・17日(水)・21日(日)

グループA

- 弘学聖愛 (13日9:00は)
- 五農 (9日12:30夕)
- 三沢 (16日9:00は)
- むつ工 (11日10:00は)
- 青中央 (14日9:00は)
- 東奥学園 (18日10:00は)
- 柏農 (14日14:00は)
- 弘前南 (11日12:30は)
- 青森商 (16日14:00は)
- 五所川原 (10日12:30は)
- 青森工 (13日14:00は)
- 明の星 (13日14:00は)

グループB

- 八戸西 (13日9:00×)
- 弘前工 (10日12:30×)
- 東義 (16日9:00×)
- 青森西 (11日12:30×)
- 八学野西 (14日9:00×)
- 八戸工 (18日12:30長)
- 名農 (14日11:30×)
- 弘前実 (11日10:00×)
- 十和田工 (16日11:30×)
- 木造 (10日10:00は)
- 弘前東 (13日11:30×)
- 弘前 (13日11:30×)

決勝
22日10:00は

グループC

- 工大一 (13日10:00長)
- 青森北 (10日9:00夕)
- 青森南 (16日10:00長)
- 青森南 (11日10:00長)
- 黒石 (14日10:00長)
- ウルスラ (18日10:00長)
- 三農恵拓 (14日12:30長)
- 青森東 (11日12:30長)
- 八戸 (16日12:30長)
- 工大二 (10日12:30長)
- 五所工科 (13日12:30長)
- 三沢商 (13日12:30長)

グループD

- 八学光星 (13日14:00×)
- 八戸東 (10日11:30夕)
- 大間 (16日14:00×)
- 十和田経路 (10日14:00夕)
- 弘中央 (14日14:00×)
- 大湊 (18日12:30は)
- 下山学園 (14日11:30は)
- 三本木 (10日10:00×)
- 田名部 (16日11:30は)
- 八高専 (10日10:00長)
- 八戸北 (13日11:30は)
- 青森山田 (13日11:30は)

会場

【は】はるか夢球場(弘前市営)
 【夕】タイムンベースボールスタジアム(青森市営)
 【長】八戸市長後球場
 【×】メイプルスタジアム(六戸町)

十和田・八戸地区連合=六ヶ所、七戸、野辺地、八戸商業、百石の連合チーム

< 球場別試合数一覧 >

	9日(1回戦)	10日(1回戦)	11日(1回戦)	12日(休養日)	13日(2回戦)	14日(2回戦)	15日(休養日)	16日(3回戦)	17日(休養日)	18日(準々決勝)	19日(移動日)	20日(準決勝)	21日(休養日)	22日(決勝)
弘前はるか夢		2	2		3	3		3		2		2		1
タイムン	1	3	0		0	0		0		0				
八戸市長後		2	2		2	2		2		2				
六戸メイプル		2	2		3	3		3		0				



心身充実の左腕
悔しさ乗り越え勝負のマウンドへ

八学光星

岡本琉奨
Rui Okamoto

おかもと・るい
学年：3年 出身校：東京・板橋二 身長/体重：176センチ/85キロ
ポジション：投手 投打：左投げ左打ち

PICKUP
注目選手

口を突くのは悔しさに満ちたエピソードの方が多い。ただ、1年前にメンタル面で「成長途中」を思わせた表情は一本を越え、「たくましい」という言葉が似合う風格を漂わせる。

幼少期は体が弱く、ぜんそくで入院したこともあった。小学2年で始めた野球は丈夫な体を育むのうってつけだった。中学3年の夏に東京支部大会決勝で先発。規定上7回までしか投げられず、延長タイブレークの末に全国行きを逃した。追い付かれての逆転負けに「ずっと投げていたのは自分。責任を感じた」。テレビで見て「ユニホームが格好いい」

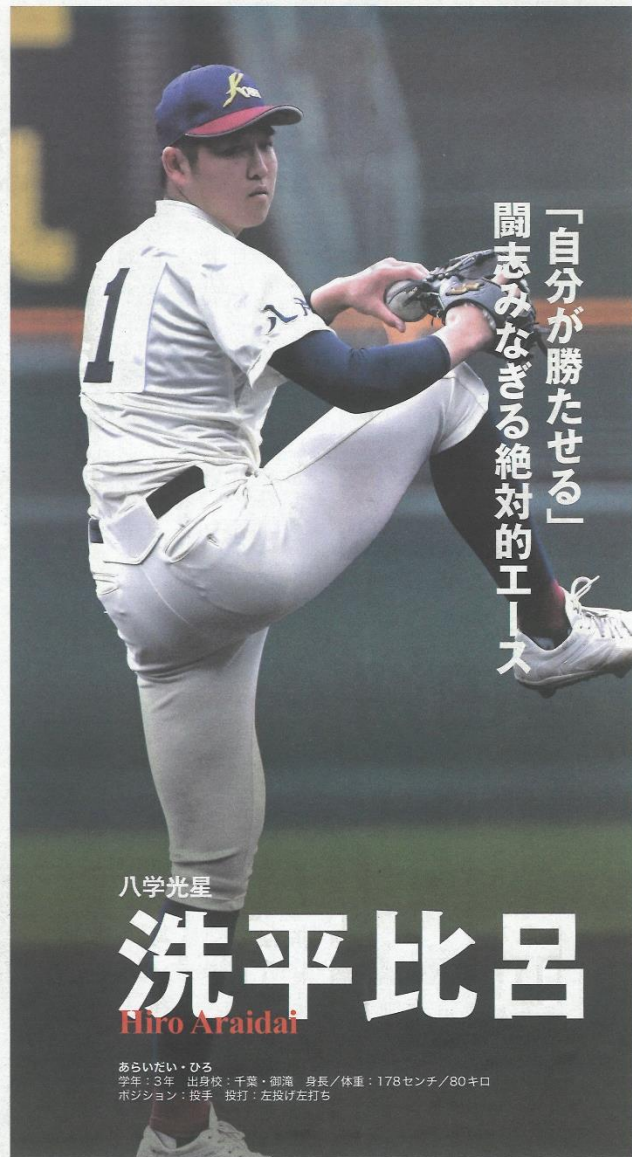
と思った八学光星へ進学。1年の夏大会を前に、1軍入りがかかった試合で登板する。

手応えを感じたが、首脳陣から「まだそのレベルではない」と判断された。「与えられたことだけやっていてもダメだ」と、自分に何が足りないかを見つめ直した。さほど多くなかった食事の量を倍以上に増やし、ウエイトトレーニングで体を大きくした。それに伴って球速も瞬く間にアップ。130キロ台だった直球は今や最速148キロと、大台を突破する日も近い。

昨年の春夏の県大会、今春の県大会と

エースナンバーを背負った。昨夏の甲子園、今春のセンバツは洗平比呂に譲ったが、センバツ1回戦で延長十回から救援。2死満塁の窮地をしのいだ際は、普段の物静かな印象とかけ離れたガッツポーズでチームを鼓舞した。

どん底を経験しても必ず一回りを大きく戻って戻ってくる。今春の県大会で工大一に敗れた後は大粒の涙があふれ出た。「初心に戻って、もう一回腕を振る」。悔しさを糧に臨む最後の夏。絞り出した言葉から、岡本琉奨がマウンドで躍動する姿が目に見えんばかりだ。



「自分が勝たせる」
闘志みなぎる絶対的エース

八学光星
洗平比呂
Hiro Araidai

あらいたい・ひろ
学年：3年 出身校：千葉・御滝 身長／体重：178センチ／80キロ
ポジション：投手 投打：左投げ左打ち

「1年生から試合に出させてもらっているのは今のチームで自分だけだ。全国に知られる強豪・八学光星のマウンドを統べてきた、洗平比呂の言葉には自負と共に責任感がにじむ。

父は光星卒で元中日の爺さん。「甲子園に一番近い高校だと思った。兄の存在も大きかった」と、二つ上の兄弟入さん（国学院大2年）の後を追って父の母校へ進んだ。

1年の夏から強烈なインパクトを残した。甲子園2回戦で愛工大名電戦の先発に抜てきされると、5回4安打1失点と好投。マウンドで見せた度胸の良さとか力強い投球は、父のような絶対的エースの再来を予感させた。

勢いそのままに、2年生でエースナンバーを背負った昨夏の甲子園では8強入りけん引。今春の選抜大会（センバツ）は秋王者の星陵に2―3で敗れたものの、一人で最後まで投げ抜き、エースのプライドを示した。

クロスファイヤーと呼ばれる、利き腕と対角線上の軌道を描く投球術の使い手。制球さえ定まれば、右打者のインコースを突き、左打者には外へ逃げていく球筋は、前に転がすことすら不可能に思わせる。

最速147キロの直球とスライダーが武器だ。さらに冬場に体幹を鍛え、これまでは「自信がなかった」というカットボールの球速を5キロアップさせること

に成功した。

一方、洗平がセンバツ後に負傷などで調子を崩すと、チームは春のプロク大会、青森県大会で同地区のライバル・工大一に2連敗。洗平は「大会前にはがをしてしまったのは自分の気の緩みからだ」と反省を口にする。

「自分が出る、出ないに関わらず、やるべきことができていなかった。次やれば絶対に勝てる」。

同校史上初の県大会3連覇がかかる夏。経験豊富な左腕は「3連覇への思いが一番強い。自分がチームを勝たせる」と、眼光鋭く奮闘を誓った。

八学光星



砂子田陽土主将

チーム史上初の夏3連覇がかかる。センバツで活躍した岡本琉、洗平ら投手陣の実力は折り紙付き。昨夏を知る砂子田を筆頭に、打線に火が付けば優勝も十分狙える。【優勝、甲子園8強②準優勝、東北準優勝⑧強】

1	岡本 琉奨③	左左	176・85	東京・板橋二
2	住本 悠哉③	右右	177・84	大阪・宮山台
3	佐藤 凌③	左左	177・80	浪 岡
4	西川 和摩③	右右	167・68	茨城・霞ヶ浦高付
5	竹田 智紀③	右右	168・75	大阪・浜寺
6	謝花 俊稀③	右右	171・68	沖縄・東風平
7	久保諒之輔②	右左	177・80	兵庫・ゆりのき台
⑧	砂子田陽土③	右左	174・75	宮城・岩切
9	山本 優大③	右右	177・80	大阪・長尾西
10	森田 智晴③	左左	175・85	神奈川・名瀬
11	洗平 比呂③	左左	178・80	千葉・御滝
12	齋藤 大翔③	右右	171・70	宮城・沖野
13	小笠原由宇③	右右	177・75	八 戸 東
14	阿部 隼也③	右両	170・72	兵庫・北神戸
15	後藤 勇③	右右	169・60	長野・岡谷東部
16	岡本 大地③	右左	172・73	京都・勝山
17	寺澤 海音③	右右	177・77	愛知・春日井中部
18	山田 義惟③	右右	184・85	京都・寺戸
19	佐藤 悠貴②	右右	180・85	秋田・男鹿東
20	渡部 主衣③	右左	170・73	東京・武蔵村山一
				監督=仲井 宗基(54) 部長=小坂 貫志(45)

1	花部 巧真③	左左	174・72	東	通
②	芋田 道生③	右右	162・60	野 辺	地
3	小山田晃哉③	右右	172・70	十 和	田
4	吹越 清弥③	右右	165・57	上	北
5	鈴木 海星③	右右	172・68	百	石
6	塩倉 蓮③	右右	174・66	大	野
7	太田 光洋③	右右	164・70	六ヶ所一	
8	橋本 葵馬③	右右	166・65	横	浜
9	天摩 誠拡③	右右	170・64	八 戸	東
10	妙川天賜郎②	右左	175・86	八 戸	一
11	今井 洸希②	右右	178・71	田 名	部
12	泉 一真②	右右	177・83	宮城・山	下
13	橋本 豪③	右右	173・72	東	通
14	米倉 匠永②	右右	168・60	上	北
15	木村 厚太③	右右	163・53	小 中	野
16	竹ヶ原優生③	右右	160・50	十 和	田
17	坂本 源斗③	右左	161・56	天 間	林
18	坂本 晃紀②	右右	160・57	天 間	林
19	佐々木翔奨②	右右	183・74	三 沢	二
20	玉澤 海人①	右右	169・57	白 銀	南
監督=蒔苗 公一(64) 部長=成田富美仁(63)					



芋田道生主将

打撃のチームで、先頭の塩倉が
 ば打線は活気付く。中軸の橋本、太田
 はチャンスに強い。昨夏から3大会連
 続で阻まれていた3回戦の壁を打ち破
 り、8強入りを目指す。【13回戦②
 3回戦③3回戦】

八学野西



2024年（令和6年） 7月4日 木曜日

デーリー東北 デーリー東北Dash 27面 掲載

【夏の甲子園 青森県の歴代出場校】

白熱の頂点争い

昨夏の青森大会は、八学光星が2年連続12度目の優勝を飾り、甲子園出場回数は青森山田を抜き、青森県内最多となった（光星時代を含む）。今大会はチーム史上初の3連覇が懸かる。

2年連続、決勝で同地区のライバル・八学光星に涙をのんだ工大一は2010年以来14年ぶり6度目の聖地を目指す。

今年3月のセンバツ8強の青森山田は7年ぶり12度目、春季青森王者で東北準Vの弘学聖愛は3年ぶり3度目の甲子園をそれぞれ狙う。

大会	年	出場校	甲子園成績
12	1926	八戸中(初)	1回戦
13	27	青森師範(初)	1回戦
14	28	八戸中(2)	1回戦
16	30	八戸中(3)	2回戦
24	38	青森師範(2)	2回戦
25	39	青森中(初)	2回戦
30	48	青森(2)	2回戦
33	51	青森(3)	2回戦
40	58	東義(初)	1回戦
42	60	青森(4)	2回戦(1勝)
44	62	青森一(初)	1回戦
45	63	東義(2)	3回戦(1勝)
47	65	八戸(4)	1回戦
49	67	東義(3)	ベスト8(2勝)
50	68	三沢(初)	2回戦(1勝)
51	69	三沢(2)	準優勝(4勝)
52	70	五農(初)	1回戦
55	73	青森商(初)	1回戦
(以降1県1代表に)			
60	78	青森北(2)	1回戦
61	79	弘前実(初)	2回戦
62	80	弘前工(初)	2回戦

大会	年	出場校	甲子園成績
63	81	東義(4)	1回戦
64	82	木造(初)	1回戦
65	83	工大一(初)	1回戦
66	84	弘前実(2)	1回戦
67	85	八戸(5)	2回戦
68	86	三沢商(初)	1回戦
69	87	工大一(2)	1回戦
70	88	弘前工(2)	1回戦
71	89	弘前工(3)	3回戦(1勝)
72	90	工大一(3)	2回戦
73	91	弘前実(3)	2回戦(1勝)
74	92	弘前実(4)	2回戦
75	93	青森山田(初)	1回戦
76	94	八戸(6)	1回戦
77	95	青森山田(2)	3回戦(1勝)
78	96	弘前実(5)	1回戦
79	97	光星(初)	1回戦
80	98	工大一(4)	1回戦
81	99	青森山田(3)	ベスト8(3勝)
82	2000	光星(2)	ベスト4(3勝)
83	01	光星(3)	ベスト8(2勝)
84	02	青森山田(4)	2回戦(1勝)

大会	年	出場校	甲子園成績
85	03	光星(4)	ベスト8(3勝)
86	04	青森山田(5)	1回戦
87	05	青森山田(6)	3回戦(2勝)
88	06	青森山田(7)	3回戦(1勝)
89	07	青森山田(8)	2回戦(1勝)
90	08	青森山田(9)	3回戦(2勝)
91	09	青森山田(10)	2回戦
92	10	工大一(5)	2回戦(1勝)
93	11	光星(5)	準優勝(4勝)
94	12	光星(6)	準優勝(4勝)
95	13	弘学聖愛(初)	3回戦(2勝)
96	14	八学光星(7)	ベスト8(2勝)
97	15	三沢商(2)	2回戦
98	16	八学光星(8)	2回戦(1勝)
99	17	青森山田(11)	3回戦(1勝)
100	18	八学光星(9)	2回戦(1勝)
101	19	八学光星(10)	ベスト8(3勝)
—	20	青森山田	—
103	21	弘学聖愛(2)	2回戦
104	22	八学光星(11)	2回戦(1勝)
105	23	八学光星(12)	ベスト8(2勝)

2024年（令和6年） 7月4日 木曜日

デーリー東北 デーリー東北Dash 29面 掲載

2023年夏と24年春の県大会の準々決勝から決勝までのデータ

23夏 回戦	対戦カード	合計得点	安打数	長打			外野への フライアウト	内野フライ (安打も含む)	外野安打	内野安打
				本	三	二				
準々決勝	工大二 2-5 工大一	7	18	0	0	2	3	13	14	4
	弘学聖愛 5-0 東義	5	14	1	1	6	15	8	13	1
	弘前 1-11 青森山田	12	16	0	2	2	2	4	14	1
	弘前東 4-11 八学光星	15	26	3	0	5	12	3	24	2
準決勝	弘学聖愛 3-6 工大一	9	12	1	0	1	6	4	10	1
	八学光星 5-0 青森山田	5	17	1	0	2	7	8	15	2
決勝	八学光星 3-2 工大一	5	13	0	0	0	4	3	9	4
合計		58	116	6	3	18	49	43	99	15

24春 回戦	対戦カード	合計得点	安打数	長打			外野への フライアウト	内野フライ (安打も含む)	外野安打	内野安打
				本	三	二				
準々決勝	青森山田 12-0 八戸西	12	12	1	0	4	7	2	12	1
	工大一 3-0 八学光星	3	15	0	0	1	7	3	14	0
	三沢商業 1-5 弘学聖愛	6	12	1	2	2	10	3	12	0
	弘前 7-6 明の星	13	22	1	1	6	9	3	22	0
準決勝	工大一 1-2 青森山田	3	14	0	0	4	13	4	11	2
	弘前 4-5 弘学聖愛	9	17	0	0	5	9	3	15	1
決勝	弘学聖愛 6-2 青森山田	8	16	1	1	4	16	3	13	3
合計		54	108	4	4	26	71	21	99	7